

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成24年1月12日 (2012.1.12)

【公開番号】特開2010-190083(P2010-190083A)

【公開日】平成22年9月2日 (2010.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2010-035

【出願番号】特願2009-33993(P2009-33993)

【国際特許分類】

F 0 2 B 61/02 (2006.01)

F 0 2 B 67/00 (2006.01)

F 0 2 F 1/06 (2006.01)

F 0 2 F 1/32 (2006.01)

F 0 2 F 1/42 (2006.01)

【 F I 】

F 0 2 B 61/02 C

F 0 2 B 67/00 E

F 0 2 B 67/00 F

F 0 2 F 1/06

F 0 2 F 1/32

F 0 2 F 1/42 D

F 0 2 F 1/42 G

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月16日 (2011.11.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車体フレーム ( F ) に搭載されるエンジン本体 ( 2 2 ) の一部を構成するシリンダヘッド ( 2 8 ) の後部側面に吸気ポート ( 4 0 ) が設けられ、前記エンジン本体 ( 2 2 ) の下部に連なって後方に連なるミッションケース ( 3 0 ) に、後輪 ( W R ) に動力を伝達するための出力軸 ( 3 1 ) が回転自在に支承され、前記吸気ポート ( 4 0 ) に吸入されるべき吸気量を調整する吸気量調整手段 ( 4 4 ) が前記シリンダヘッド ( 2 8 ) に接続される自動二輪車用エンジンにおいて、前記吸気量調整手段 ( 4 4 ) が前記出力軸 ( 3 1 ) の上方に配置され、前記吸気ポート ( 4 0 ) に通じる吸気路 ( 5 5 , 7 1 ) を形成するとともに両端に取付けフランジ ( 5 6 , 5 7 ; 6 9 , 7 0 ) を有する金属製のインレットパイプ ( 4 5 , 6 6 ) の一端の取付けフランジ ( 5 6 , 6 9 ) が前記吸気量調整手段 ( 4 4 ) に直接接続され、該インレットパイプ ( 4 5 , 6 6 ) の他端の取付けフランジ ( 5 7 , 7 0 ) が前記シリンダヘッド ( 2 8 ) に直接接続されることを特徴とする自動二輪車用エンジン。

【請求項 2】

シリンダブロック ( 2 7 ) およびシリンダヘッド ( 2 8 ) の外面に複数の冷却フィン ( 2 7 a , 2 8 a ) が設けられるようにして前記エンジン本体 ( 2 2 ) が空冷式に構成され、前記インレットパイプ ( 4 5 , 6 6 ) の外面に、前後方向に延びる整流フィン ( 5 9 , 6 0 ; 7 2 , 7 3 ) が設けられることを特徴とする請求項 1 記載の自動二輪車用エンジン。

**【請求項 3】**

前記シリンダヘッド（２８）に、その前部側面に設けられる排気ポート（４７）の周囲から前記吸気ポート（４０）の周囲に至る連通路（５３）が設けられることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の自動二輪車用エンジン。

**【請求項 4】**

前記整流フィン（５９，６０）が、前記吸気量調整手段（４４）側に向かうにつれて前記インレットパイプ（４５）の外面からの突出高さが大きくなるようにして、前記インレットパイプ（４５）の上部外面および下部外面に一体に設けられることを特徴とする請求項 2 記載の自動二輪車用エンジン。

**【請求項 5】**

前記インレットパイプ（４５，６６）が両端に備える取付けフランジ（５６，５７；６９，７０）の前記吸気量調整手段（４４）および前記シリンダヘッド（２８）への取付け面（５６ a，５７ a；６９ a，７０ a）が、上方に向かうにつれて遠ざかるように傾斜して形成され、インレットパイプ（４５，６６）側から両取付けフランジ（５６，５７；６９，７０）に挿通されるボルト（６１，６２；７５，７６）によって該インレットパイプ（４５，６６）の両端が前記吸気量調整手段（４４）および前記シリンダヘッド（２８）に取付けられることを特徴とする請求項 2 記載の自動二輪車用エンジン。

**【手続補正 2】**

**【補正対象書類名】** 図面

**【補正対象項目名】** 図 3

**【補正方法】** 変更

**【補正の内容】**

【図 3】

